

急性前骨髄球性白血病を克服



新藤日出美さん

急性前骨髄球性白血病 を見事に克服されました！

何の前触れもなく突然の病気の宣告に驚かれた筈の新藤さんですが、日頃、剣舞で鍛えられた精神力と、ご家族の大いなるご理解とご協力とで、毅然と病気と向き合い克服されました。無菌室での孤独との闘いや、抗がん剤の副作用で口の中が口内炎だらけになったり、歯を9本も抜かれたそうですが、決して愚痴や弱音を吐かれることはなく、**前向きな言葉と、感謝の言葉**ばかりです。

長い闘病生活を乗り越えられた貴重なお話です。

一昨年末に気休めに受診した検診で、血液の異常がありました。年明け早々に大学病院で再検査の結果、**急性前骨髄球性白血病M3**との病名を告げられました。長い病名ですが要するに白血病です。その時の数値は、白血球0.7・ヘモグロビン8.8・血小板3.6でした。白血病は血液のガンであり、血液の細胞が異常を起こして、正常な血液が造られにくくなる病気だそうです。

抗がん剤を用いた化学療法や、白血細胞を正常に近い細胞に変化させる治療法で行われます。しばらく入院して治療を行うように云われ、即入院しました。

そして、ライフケアの松尾先生から、白血病に関する詳しい資料を送って頂き、メールやお電話でもアドバイスや励ましを頂きました。その中で、「治療中に数値が下がって、防御力がないと、感染したり、合併症になったりが怖いから、**治療に耐えられる身体**を造っておくのが大切」とのアドバイスに、「そうだ、私に出来ることは、**食事とサプリ**をしっかりと摂って身体を造り、病気ともしっかりと向き合って、必ず元気になって、又、好きな剣詩舞を舞いたい」と思い勇気を出しました。

サプリを病室に持ち込み、コンドロイチン・エラスチン・白寿・SOD・亜鉛・Bコンプ・カルマグ・ガンマーリノ・A&E・E400・タウリンをしっかりと摂り続けました。

治療薬（ベサノイド）を飲み始めて16日目に白血球が22,300に跳ね上がり、抗がん剤でガン細胞を叩いて下げ、又、治療薬を飲むと、ヘモグロビン3.9・血小板1.9と下がり、輸血をするの繰り返しです。

感染症で眼が痛くて腫れたり、腸炎を起こして苦しんだり、**歯を一挙に9本抜いたり**と、大変な思いもしましたが、入院して2ヶ月でようやく遺伝子の検査で寛解になり、一段階クリアしました。次は化学療法の抗がん治療です。3クール行いますが、「これを乗り越えれば退院出来る！希望を持とう！」と奮起しました。

その頃、松尾先生から1日に**15粒飲むようにガンマーリノ**を戴いたお陰で、最もつらいと云われた抗がん剤治療も、不思議なほど大した苦しみも無く終わりました。

先生に「薬が効いていないせいですか？」と聞いて笑われた位です。6ヶ月余りの入院生活でしたが、不安もなく、心穏やかに治療が出来たのは、**医療の力と、サプリメント**をしっかりと摂り、松尾先生のご指導の支えがあったからです。未だ2年間の維持療法は続きますが、健康の有り難さを改めて噛みしめております。日常生活が出来るようになり心から感謝致しております。